

“おもしろくて ためになる 学びの共有”

秋田県教育カウンセラー協会機関誌

教育カウンセラー

あきた

15号

2008年（平成20年）7月6日発行

## キャリア教育への理解と協力を

秋田県教育カウンセラー協会

代表 水戸谷貞夫

今年1月に公表された中央教育審議会の「答申」には、「子どもたちの進路をめぐる環境の大きな変化の中で、子どもたちが直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくためには、キャリア教育を充実する必要がある。」と述べ、「今後更に、子どもたちの発達段階に応じて、学校の教育活動全体を通じた組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む必要がある。」とも指摘し、指導内容・方法や機会・場についても具体的に述べている。

また、3月に告示された学習指導要領について、文部科学事務次官名で各都道府県教育委員会などあてに出された通知には、「これらの学習や勤労観・職業観を育てるためのキャリア教育などを通じ、学習意欲を向上するとともに、学習習慣の確立を図るものにしたこと」や「児童生徒の社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達の段階に応じ、集団宿泊活動や自然体験活動（小学校）、職場

体験活動（中学校）を重点的に推進することとしたこと。」をあげている。

新学習指導要領に、どのように示されているかを吟味する必要があるが、ここでは、中学校の一部を上げることにしたい。

「総則」第4の2には、「（4）生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行うこと。」、

「（5）生徒が学校や学級での生活によりよく適応するとともに、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力を育成することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、ガイダンスの機能の充実を図ること。」などが示されている。

さらに、具体的な内容としては、第4章の「総合的な学習の時間」や「特別活動」に多くのことが例示されているのでぜひ理解され、実践を展開されるように願っている。

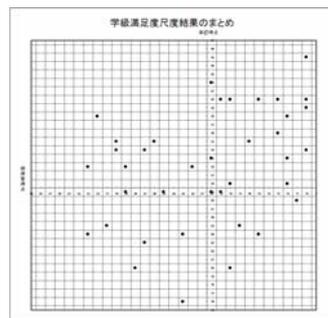
（これ以外にも、改正された「学校教育法」の「義務教育」の項などについてもぜひ参照していただきたい。

# 学級まるごとチーム支援

秋田県立秋田工業高校教諭（協会監事） 成田 実

私はけっこうおしゃべり好きである。久しぶりに高校に勤務し学級担任の仕事を楽しんでいる。学級経営としては「みんなに愛されるクラス」になって欲しいと思い、クラスの出来事や生徒の言動など、そこから辺にいる同僚に話しまくっている。また、それに対して面白いほどレスポンスがあり、ほとんどの話題は爆笑で終わる。

このように、多くの先生方に生徒のことを知ってもらい、教えてもらい、自然な形で学級まるごとチーム支援の体制をつくっている。同僚の皆さんに感謝・感謝である。



この1年間で井戸端会議が特に盛上ったのはQ-Uのプロット図を出したときだった。多くの先生方は、自分が関わっているクラスのプロット図を見るのが初めてらしく興味津々だった。「国語では〇〇」、「英語では〇〇」、「音楽では〇〇」、「体育では〇〇」「部活動では〇〇」など、授業中の様子や部活動での人間関係など様々なことが話され、10分間で教科担任・部活動顧問・担任で密度の濃い情報交換ができた。人間関係、教科ごとの学習の取組み、生徒個々の行動の特徴など担任の私だけでなく生徒理解が深まったようだ。これもまたありがたい。(コツは井戸端会議かな)

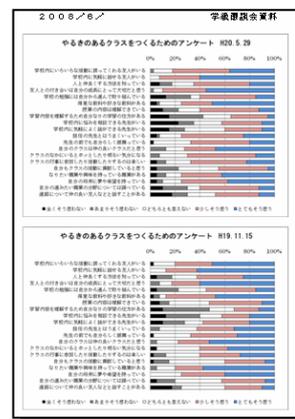
いつも月末に「気になるニュース」というのを生徒に書かせている。これがまた面白い。生徒の変化や状況をつかむために始めたものだ。この記述内容から面接のきっかけをつくったり、特別に観察する対象を見つけたりしている。また、「担任にひとこと」の欄で私に質問や意見を求める記述があればできる限りクラス全体に回答している。

「=女性の髪形の絵の図があって=この髪型って何という名前ですか?」

帰宅後、妻にも協力してもらいWeb上で検索、次の朝、回答した。クラスはどっと笑いに包まれた。丸坊主で入学してから数か月、彼に何かいいことがあったのかな・・・。「気になるニュース」は生徒とのコミュニケーション・ツールとして、明るい話題をつくる役目のほか、トラブルや悩みなどの発見・対応に役立ち、私の重要なツールになっている。特に部活動関係の成長や悩みを知ることができチーム支援の一助になったケースもあった。「気になるニュース」が機能するには、「何を書いても担任は受入れてくれる」と生徒に思ってもらうことが前提である。その期待に応えるように気を付けている。(コツはカウンセリング・マインドかな)

PTAの学級懇談会でもおしゃべり好きは役立っているようだ。学級懇談会では話題提供役として振る舞い、保護者に楽しんで帰ってもらうことを目指している。今年の学級懇談会では、今まで3回実施したQ-U「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」のグラフからわかる特徴とクラスの出来事などの話題から懇談会を進めてみた。友人・学習・教師・進路について、各家庭での状況を話したり聞いたりすることで、共通の悩みがあることを知ったり、様々な考え方に触れたりすることで多くの方に満足していただくと感じている。これで、保護者も学級まるごとチーム支援のメンバーになった。(コツはお茶と飴玉を用意したことかな)

※ プロット図やグラフは実際のデータではありません。



カウンセラーが行う相談活動には、3種類がある。

その1つめは「カウンセリング」であり、自分自身の悩みや課題を持つクライアント（あるいはカウンセラー）が、カウンセラーとの言語的・非言語的なコミュニケーションを通じて、その解決（行動の変容）を目指す…という相談活動がこれにあたる。

2つめは機関紙No.7の本項でご紹介した「コンサルテーション」。これは、相談する側（コンサルティ）が受け持っている事例について、異なる専門性を持つ者（コンサルタント）と検討し合う…という相談活動である。例えば、教育の専門家である教師が、受け持ちの児童生徒の健康問題について、医療の専門家である医師に相談するような場合がこれにあたる。ちなみに、保護者との相談も「子育ての専門家」を相手とするという部分では、コンサルテーションと分類することも出来よう。

3つめは「スーパービジョン」である。これは、教育訓練の途上にある者や現職の専門家が、自らの能力向上を目指し、指導的な立場にあるベテランや、高い能力を有する者などから指導・助言を受ける目的で行う活動である。スーパービジョンを受ける側はスーパーバイザー（被訓練者）、指導・助言をする側はスーパーバイザー（監督訓練者）と呼ばれる。今号の「カウンセリング・トピックス」では、このスーパービジョンについて考えてみたい。

スーパービジョンを行うメリットとしては、下記のようなものがある。

- ①スーパーバイザーの能力が高まる
- ②スーパーバイザーはサポートされ、自信を持てる
- ③ケース対応での改善点に気付くことが出来る
- ④スーパーバイザーが担当するケース（児童生徒・保護者・クライアントなど）に良い援助が出来るようになる … e t c .

スーパービジョンには「1対多数」で行われるグループ・スーパービジョンもあるが、スーパーバイザーとケースについて深い話し合いが出来る「1対1」の個人スーパービジョンが主流になっている。

カウンセラーのスーパービジョンでは、構造が重視される。例えば、頻度や時間、場所、方法、料金などについて、事前に取り決めをしておくことが望ましい。本格的な能力向上・専門性の習得を目的に実施される場合は、週1回、1回50分のセッションを、半年から1年程度継続するのが一般的である。そのような目的でなく、難しいケースの対応に悩んだ時や、マンネリ防止・リフレッシュの目的で、折々に自己の活動を振り返りチェックする単発のスーパービジョンが行われる場合もある。料金の設定は、セッションを充実させ、バイザー・バイザーの双方が納得して真剣に取り組むために重要な意味を持つ。金銭のやり取りを行うことで、バイザーは多くのことを学ぼうとし、疑問の点なども質問し解消しようとする積極的な姿勢を持てるし、バイザーも責任をもって良い指導を行えるよう努力するようになる。

スーパービジョンで受ける指導・助言には、ケース対応での技法等に関するテクニカルな指摘ばかりでなく、自分自身の人生観や生き方、対人関係での特定の型（傾向）などに関係する内容が扱われることもある。自己の内面に直面する作業となり、辛さ・苦しさを感じることも少なくない。しかし、そのような体験を経ることで自己洞察・自己覚知が進み、人間的に成長することも出来るのである。

初心者・若手はもちろん、どんな年齢・経験であっても、専門家としての活動の質を高めるために、スーパービジョンの活用をオススメしたい。

参考・引用文献

『教育カウンセラー標準テキスト』；図書文化，日本教育カウンセラー協会編，2004

（協会理事 上級教育カウンセラー 浅沼知一）

## スーパービジョンのご案内

『秋田県教育カウンセラー協会では、スーパービジョンの要望にお応えしています！』  
今号の「カウンセリング・トピックス」でも紹介しているように、スーパービジョンは様々なニーズに役立ちます。例えば…

「教育カウンセラーとして、専門能力を高めたい。」

「1人では気づき難い、自分自身の傾向を知りたい。」

「自信が不足しているので、サポートしてもらいたい。」

「児童生徒や保護者への対応が上手く行かない。ヒントが欲しい。」

「教育カウンセラー資格の中級・上級を取得したい。」

(※中級・上級資格申請の際には、スーパービジョンが必須です。)

そう感じたとき、気軽にスーパービジョンにお申し込みください。

### 申込方法

協会事務局あてに、E-mailかFAXにてお問い合わせください。

申し込み時には、下記についての記入もお願い致します。

- ① 氏名
- ② 連絡先 (E-mailアドレス・TEL番号など)
- ③ スーパービジョンの目的 (『研修』, 『資格申請』, など)
- ④ 相談内容
- ⑤ 希望の面接日・時間・面接場所など

\*相談内容や面接日・場所などを勘案し、スーパーバイザーをご紹介します。

\*日時や場所などは、必ずしもご希望に添えない場合もありますことをご了承ください。

\*スーパービジョンの料金は、1回 (1時間程度) 5,000円です。

なお、スーパーバイザーは、当協会の上級教育カウンセラーが担当致します。

☞お申し込み・お問い合わせは、下記まで。

E-mail : [jeca\\_akita@yahoo.co.jp](mailto:jeca_akita@yahoo.co.jp)

FAX : 0138-84-8032

### 編・集・後・記

最近では驚くような事件ばかりが目につく時代となりました。そして、めまぐるしい社会の変化に応じ、日々変わっていく教育現場。協会のキャッチフレーズに「学びの共有」があるように、お互いが持ち得た学びを、分かち合い、高め合っていくことがまさに必要とされている時代と言えます。

明るい未来を築く世代を育てていくために、多くの人の意見に耳を傾けながら、力強く歩んでいきたいと思うこの頃です。(N)